

平成二十五年 前期 選抜 学力 検査

国 語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **3** までで、六ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに別紙があります。

- 注
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 次の(一)～(八)の各問いに答えなさい。(十九点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

① この計画に妥協は許されない。 ② 監督と選手の意思の疎通が大事だ。

③ 慌てて準備をする。 ④ 交流の機会をもうける。

⑤ 夕日が西の空を赤くそめる。 ⑥ 自宅と図書館をおうふくする。

(二) 次の文の [] に当てはまる和語として、最も適当なものほどれか、下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

好きな音楽を聴きながら読書をして、 [] なひとときを過ごした。 [ア、ハッピー イ、幸運 ウ、幸せ エ、幸福]

(三) 次の文の [] に当てはまる言葉として、最も適当なものほどれか、下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

地域に伝わる伝統芸能の技の [] が課題だ。 [ア、警鐘 イ、継承 ウ、景勝 エ、敬称]

(四) 次の文には、仮名遣いの誤っているところが一か所ある。仮名遣いの誤っている部分を、あとの(例)にならって一文節で抜き出し、正しい仮名遣いに直しなさい。

おねえさんは毎日少しづつ練習を重ねて、ようやく思いどおりに一輪車に乗れるようになった。

(例) ろおそくに火をとます。 ろおそくに ↓ ろうそくに

(五) 次の①、②の各組の傍線部分の語のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものを、次のア～エの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

① ア、五年前までプロ野球選手だった人に会う。 イ、楽しかった修学旅行を思い出す。
ウ、先日の遠足で撮影した写真を飾る。 エ、部屋の壁にかかった絵を見る。

② ア、ゆかいな仲間と楽しく過ごす。 イ、知らない町で親切な人たちに出会った。
ウ、とてもおかしな話を聞いた。 エ、便利な機能がついた家電製品を買う。

(六) 次の文の傍線部分を適切な敬語の表現に直すとき、最も適当なものはどれか、下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

お客様は、おいしそうに料理を食べた。〔ア、召し上がった イ、いただいた ウ、お食べた エ、うけたまわった〕

(七) 次の『小倉百人一首』に収められている和歌である。傍線部分を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

人もをし人も恨めしあぢきなく世を思ふゆゑに物思ふ身は 後鳥羽院

(八) 次の俳句と【鑑賞文】を読んで、あとの①、②の各問いに答えなさい。

(俳句)

中村汀女

【鑑賞文】

(鑑賞文)

(山本 健吉 『定本 現代俳句』より)

① この俳句で用いられている切れ字を、俳句から抜き出して書きなさい。

② この俳句の傍線部分「ときどき太き」は、何がどのような様子であることを表しているか、【鑑賞文】を参考にして書きなさい。

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 傍線部分(1)「生物多様性」とあるが、筆者は「生物多様性」の意味を、三つの観点から説明している。この三つの観点をすべて、それぞれ七字以内で本文中から抜き出して書きなさい。

(二) 傍線部分(2)「日常的な感覚で認識できる生物多様性とはどのようなものだろうか。実は、その感覚を身につけているのは残念ながらある程度年輩の人々に限られる」とあるが、年輩の人々が日常的な感覚で生物多様性を認識できるのはなぜか、その理由を本文中の言葉を使って四十五字以上五十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(三) 傍線部分(3)「はびこっている」の意味として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、強くこびりついている
 イ、ゆっくりと衰退している
 ウ、生存するために競っている
 エ、広がって勢いをふるっている

(四) 傍線部分(4)「よい目安である」を組み立てている単語の品詞の並び順として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、形容詞↓形容動詞↓動詞
 イ、形容詞↓名詞↓助動詞↓動詞
 ウ、連体詞↓形容動詞↓動詞
 エ、連体詞↓名詞↓助詞↓動詞

(五) 文中の **A** に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、まるで
- イ、なぜ
- ウ、決して
- エ、たとえ

(六) 文中の **B** に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、影響
- イ、縮小
- ウ、恩恵
- エ、貢献

(七) 傍線部分(5)「これは、自然の恵みにたよって生きざるをえない私たち人間の将来に暗い影を投げかけている」とあるが、筆者はなぜ、「これ」が私たち人間の将来に暗い影を投げかけているというのか、その理由を、「これ」の指し示す内容を明らかにして、本文中の言葉を使って四十五字以上五十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(次のページへ) ←

次は、中学生のあきらさんが「総合的な学習の時間」に、ボランティア等について調べたことを発表するときを使用した【資料A】、【資料B】と、【発表原稿】の一部である。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十三点)

【資料A】

「ボランティア等に参加しているか」	
	「参加している」と答えた人の割合
平成21年度	26.0%
平成22年度	21.5%
平成23年度	24.6%

【資料B】

「ボランティア等にどのように参加したいか」	
	平成23年度
これまで参加していなかったが、今後は自ら参加したい	33.5%
これまでも参加していたが、今後はもっと活動を増やしたい	16.8%
これまでも参加していたが、今後は活動を減らしたい	5.5%
参加したくない	16.0%
参加できない	28.1%

- ・ 調査対象は15歳以上80歳未満の男女である。
- ・ 「ボランティア等」には、NPO活動や市民活動等による支え合う活動を含む。

(【資料A】、【資料B】は内閣府Webページから作成)

【発表原稿】

ボランティア等への関心が高まり、私たちの身近なところでも、ボランティア活動をしている人を見かけます。そこで、私は、ボランティア等について調べたことを発表します。みなさんは、どれくらいの方がボランティア等に参加していると思いますか。私は、内閣府が実施した調査の中に、ボランティア等に関するものを見つけたので、【資料A】、【資料B】のようにまとめてみました。

【資料A】は、「ボランティア等に参加しているか」という質問に、「参加している」と答えた人の、平成二十一年度から平成二十三年度までの割合を示したものです。この資料では、「参加している」と答えた人の割合が、どの年度も

【資料B】は、「ボランティア等にどのように参加したいか」という質問に対する平成二十三年度の回答をまとめたものです。この資料では、「これまで参加していなかったが、今後は自ら参加したい」と回答した人の割合が三三・五パーセントと、最も高くなっています。また、この回答の割合と、「これまでも参加していたが、今後はもっと活動を増やしたい」と回答した人の割合を合計すると、五〇・三パーセントになります。このことから、今後、ボランティア等に積極的に参加したいと考えている人が、約半数を占めています。

(一) 【発表原稿】の傍線部分「みなさんは、どれくらいの人がボランティア等に参加していると思いますか」とあるが、この一文における表現上の効果として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、身近な生活から具体的な課題を見つけ、わかりやすく考えを伝えている。
イ、具体的な例を示して印象づけ、聞き手の共感を得られるようにしている。
ウ、問いかけにより問題提起し、聞き手の興味や関心をひくようにしている。
エ、聞き手の反応に合わせて情報を伝え、より理解が深まるようにしている。

(二) 【資料A】を参考にして、【発表原稿】の に入る適切な言葉を書きなさい。

(三) 【発表原稿】の波線部分「このことから、今後、ボランティア等に積極的に参加したいと考えている人が、約半数を占めています」は、【発表原稿】の文脈の中では、「このことから」と「占めています」との言葉の関係が不適切である。この文の表現が適切になるように、文末の「います」の部分を書き直しなさい。

(四) 「ボランティア活動に参加すること」について、あなたの考えや意見を、「作文の注意」にしたがって書きなさい。

【作文の注意】

- ① 題名は書かずに本文から書き出さない。
- ② あなたの考えや意見と、その根拠を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。